

●6年制学科のカリキュラムの特色

少人数による薬学教育を行っています。学生生活と修学は、基礎薬学と臨床薬学の2名の教員(チューター制度)と教育センターによりサポートされています。本学薬学部の教員は、半数が豊かな臨床経験を持ち、グループ病院の協力を得ながら臨床薬学教育に力を入れており、人の命と健康な生活を護れる薬剤師、そして、地域に貢献でき臨床に強い薬剤師を輩出します。さらに、専用の学部棟を備え、オープンラボ制度を導入し、研究室を超えた共同研究ができ、学生が主体的に考え、他者と協調して研究し、発信する力を養える点が他学にはない特徴と言えます。

●病院や薬局の実務実習 特色や取り組み

実務実習への支援体制として、実務実習センターを整備する他、早期に医療従事者としての社会的使命を意識させる「早期臨床体験実習」、病院実習及び薬局実習に関する「実務実習(薬局実習、病院実習)」を整備し、6年間の薬学教育の中に薬学実務実習教育を位置づけています。

●病院実習先・薬局実習先

湘南東部総合病院、茅ヶ崎中央病院、茅ヶ崎新北陵病院、ふれあい平塚ホスピタル、ふれあい東戸塚ホスピタル、康心会汐見台病院 ほか 6カ所(2023年度現在、今後増大予定)
陽だまり薬局、ほほえみ薬局 ほか 4カ所
調整機構により実習先を確保(2023年度現在、今後増大予定)

●アドバンスト(臨床)実習

実務実習の効果を大学と医療現場の双方向の連携により社会へ還元・貢献する薬学アドバンスト教育として、薬学研究科目において研究マインドと研究実践能力を養います。「薬学総合ブレ研究」という科目では、各研究室で基礎的な実験方法や重要疾患についてゼミ形式で修得します。また、「卒業研究Ⅰ・Ⅱ」などの科目を配置し、取り組み課題を決め、その取り組みを通じて学生の主体的な学びの力、調査能力、発信力を学びます。

●多職種連携教育の具体的な内容

薬の専門家として多職種との相互理解及び協働してチーム医療に参画してコミュニケーション力が発揮できる能力を養います。そのために「早期臨床体験実習」、「医療薬学チュートリアル演習」といった科目では、チームで協働して作業する技法、問題や課題を発見して、その問題課題解決のために計画を立案、実施する能力などを身につけさせます。また、6年次科目としている「チーム医療論」では、保健

医療学部の学生と合同参画・履修し、本学が医療系総合大学である利点を活かした多職種連携教育を用意しています。

●多職種連携教育を行う医療施設名

具体的な病院名(施設名)は調整中ですが、総合病院・クリニック・卸業者・介護老人保健施設・研究所などの企業を予定しています。

●薬剤師国家試験への取り組み

本学薬学部は2021年に開設し、現在は3年生が最高学年で、基礎的知識の修得を主としています。しかし、過去問データベースを活用しながら学生が自主的に問題に取り組める環境を整えていることや、要所にテストの中に過去問レベルの問題を組み入れるなど、国家試験に対応できる力を身につけさせています。

●卒業研究について

卒業研究では、卒業研究論文のまとめと卒業研究発表を行い、課題発見能力や問題解決能力、プレゼンテーション能力を身に付けます。また、総合演習により6年間の学びの総まとめを行い、国家試験に合格できる総合力を身に付けます。また、卒業研究の一環として、チーム医療論という科目では、保健医療学部学生と合同で履修し、学部学科を超えた症例検討を通じて、チーム医療における各専門職の役割と、お互いのコミュニケーションの重要性を理解します。

●入試の変更点

2024年度入学試験において、総合型選抜及び学校推薦型選抜Ⅰ期で新たに特待生制度を導入。
※詳細については学生募集要項を参照

●入試に合格するためのアドバイス

回答なし

●過去問を公開しておられますか

WEB上に公開はしておりません。希望者はHPより過去問題のご請求を受け付けています。

●面接や小論文について教えてください

回答なし

●大学独自の奨学金制度

ふれあいグループ奨学金

https://sums.ac.jp/html/campus_life/sc_hool_expenses/

●地域のアパート・マンションのモデル家賃

地域の学生マンションの家賃は大体、3万円代~7万円代になります。本学には、女子寮のみ有り。寮費は月5万円となります。

その他、推薦学生寮においては、食事別で77,600円、食事込みで、95,000円となります。(その他諸費用、入寮手続き費用等別)

●オープンキャンパスの日程

回答なし